

## 中学校音楽科事例2

# 題材名 歌舞伎の音楽の特徴と人々にとっての役割や意味を理解し、その魅力を味わって聴こう

第2学年「B鑑賞」(1)鑑賞 及び〔共通事項〕(1)

### ◆本実践の概要

指導事項として鑑賞イ(1)を設定し、授業で学んだ知識をもとに生活や社会における音楽の意味や役割を考えることをねらいとした。そのために、第1学年で学習した雅楽との比較鑑賞や、場面ごとの音楽の鑑賞から、歌舞伎の魅力に迫り、それをもとになぜ人々に親しまれているかについて考える課題を設定した。

## 1 題材の目標

- (1) 歌舞伎「勧進帳」の音楽の特徴やその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。
- (2) 歌舞伎「勧進帳」で用いられる楽器の音色やリズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、よさや美しさを味わって聴く。
- (3) 歌舞伎の音楽の特徴やその背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、我が国の伝統音楽に親しむ。

## 2 指導事項との関連

B 鑑賞(1)ア(1)イ(1)

〔共通事項〕(1)ア 本題材の学習において生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「音色、リズム、テクスチャ」

## 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 歌舞伎「勧進帳」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	<b>思</b> 歌舞伎「勧進帳」の音色やリズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、歌舞伎のよさや美しさを味わって聴いている。	<b>態</b> 歌舞伎の音楽の特徴と生活や社会における意味や役割に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 4 題材について

本題材では、歌舞伎についてその背景となる文化や歴史との関わりについて理解したり、楽器や長唄の演奏に注目して鑑賞したりすることにより日本の伝統音楽についての関心を深め、その魅力やよさを味わうとともに、自分なりに言葉で表現できることを目標としている。『勧進帳』は場面により囃子だけの場面や長唄だけの場面など、場面によって使用されている音楽が異なるため、個々の実態によって鑑賞場面を選択しやすいと考えた。

また、第1学年で行った雅楽の鑑賞では、用いられている楽器の音色やリズムに着目して聴き、日本の音楽の持

つ独特の音色や旋律を感じとる学習を行った。本題材においても、その活動を生かしつつ楽器や唄の音色に着目して聴くことで、日本の伝統音楽についてより理解を深めることができると考え、雅楽の復習を導入として取り入れてから鑑賞を行うというような授業構成とした。

## 5 指導計画（全3時間）

時	◇ねらい ○学習内容・学習活動	知	思	態
		〈内は評価方法		
1	<p>◇我が国の伝統音楽に関心を持ち、雅楽と歌舞伎の比較を通して歌舞伎の背景となる歴史や文化を知る。</p> <p>○日本の伝統音楽に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で学習した雅楽の音楽の特徴や歴史等について振り返る。</li> <li>・歌舞伎にまつわる漢字の読み方のクイズや、雅楽の復習も兼ねた楽器の音のクイズをする。</li> </ul> <p>○歌舞伎ができた時代背景を知り、雅楽との共通点や相違点を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドやワークシートを使いながら、歌舞伎についての知識を得る。</li> <li>・楽器、舞台、衣装等について、雅楽と歌舞伎を比較し、共通点と相違点をまとめる。</li> </ul> <p>○『勸進帳』のあらすじを動画と教科書で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物やあらすじを理解する。</li> <li>・次回鑑賞する場面を知る。</li> </ul> <p>○本時の振り返り、今後の学習について見通しをもつ。</p>	↓	↓	↓
2 本 時	<p>◇勸進帳の音楽を聴き、楽器や長唄の音色、リズム、テクスチャを知覚し、音楽の特徴について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考える。</p> <p>○歌舞伎『勸進帳』の場面1～5を鑑賞し、それぞれどの場面かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各場面のあらすじを教科書で確認しながら鑑賞する。</li> <li>・なぜその場面だと感じたのかについて、メモを取りながら聴く。</li> </ul> <p>○『勸進帳』で自分が選択した場面の音楽に注目して、その音楽の特徴について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎『勸進帳』（場面1）の音楽の特徴について、音色、リズム、楽器や唄の重なり方に注目して聴いた例を示す。</li> <li>・3、4、5の場面から一つを選択し、長唄や楽器の音色やリズム、楽器や長唄との音の重なり方に注目して聴くようにする。</li> <li>・場面3は三味線と囃子、長唄による演奏、場面4は長唄のみの演奏、場面5は囃子のみの演奏となっているため、自分が聞き取りやすいと考える場面を選択するようにする。</li> <li>・例に沿って感じたことを入力する。</li> </ul>	↓ 知 へ 観 察 ・ ワ ー ク シ ー ト へ	↓	↓

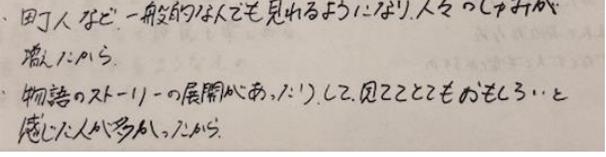
	<p>○自分の聴いた音楽の特徴から、なぜ江戸時代の人々によって親しまれていたかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽の音楽の特徴と比較しながら考える。</li> <li>・江戸時代の時代背景を踏まえた上で考える。</li> </ul> <p>○次回以降の見通しと、本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価カードの記入、発表</li> </ul>			
3	<p>◇歌舞伎のよさや美しさを味わって聴き、我が国の伝統音楽に親しむ。</p> <p>○前時で同じ場面を選んだグループごとに音楽の特徴を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Jamboard で意見を共有する。</li> <li>・それぞれのグループの Jamboard の内容を大型テレビで共有しながら確認する。</li> </ul> <p>○歌舞伎『勸進帳』の映像を鑑賞し、前時の学習も踏まえて歌舞伎が江戸時代の生活や社会においてどのような役割を果たしていたかについて考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像から、音楽による効果を考えながら聴く。</li> <li>・なぜ歌舞伎が現在まで長く親しまれているかについて考える。</li> <li>・現在も親しまれている歌舞伎を紹介する。(スーパー歌舞伎)</li> </ul> <p>○今後の学習への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統音楽には、他にも種類があることを紹介する。</li> </ul>			<p>思 〈観察・ワークシート〉</p> <p>態 〈観察・ワークシート〉</p>

6 本時の授業（第2時）

(1) 本時の目標 勸進帳の音楽を聴いて、その特徴から人々によって長く親しまれたのはなぜか考える。

(2) 本時の実際

過程	学習のねらいと学習活動	教師の指導・支援
導入 (15分)	<p>○歌舞伎『勸進帳』の場面1～5の音楽を、それぞれどの場面であるかを想像しながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各場面のあらすじを教科書で確認しながら鑑賞する。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>場面1 安宅の間に織姫一行が到着する。 → A, B, C</p> <p>場面2 弁慶と暁程の問答 → B, D</p> <p>場面3 詰め寄り → C, E</p> <p>場面4 暁程のなきけで無事に海所を通過する → D</p> <p>場面5 弁慶は礼に延年の舞を舞う → E</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～5の場面を音源で流し、それぞれがどんな場面かをメモしておけるように用意する。</li> <li>・どうしてその場面だと感じたのかについて聞きながら正解をスライドで示す。</li> </ul>
展開 (30分)	<p>○『勸進帳』で自分が選択した場面の音楽に注目して、その音楽の特徴について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎『勸進帳』（場面1）の音楽の特徴について、音色、リズム、楽器や唄の重なり方に注目して聴いた例を示す。</li> <li>・場面3は三味線と囃子、長唄による演奏、場面4は長唄のみの演奏、場面5は囃子のみの演奏となっているた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面1の音楽について音色、リズム、テクスチャについて記述した例をスライドで示す。</li> </ul>

	<p>め、自分が聴き取りやすいと考える場面を選択する。</p> <p>個別最適な学び ←</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC で選択して繰り返し聴けるように、音源を用意しておく。</li> <li>・聴く際には各自イヤホンで聴く。</li> </ul> <p>音色、リズム、テクスチャについて聴き取ったことをスライドにまとめる。</p>												
<p>生徒の意見</p>	<p>16 選択した場面 ( 5 )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>楽器や長唄の音色</th> <th>リズム</th> <th>楽器や唄との重なり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>笛と弾物が聞こえる (笛がメイン) よーってさいしょはいている ボンとピンという2つの音がある。</td> <td>ゆっくりしている 最後の方は速くなったり、遅くなったりする タタダン、タタダン、タタダタダダンって いうリズムが聞こえる。(途中から) 極しもうなテンポ</td> <td>よーが始まる前にボンって言う音が聞こえる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自分の聴いた音楽の特徴から、なぜ江戸時代の人々によって親しまれていたかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴取から得た音楽の特徴から、江戸時代の時代背景を踏まえた上で考える。</li> </ul> <p>生徒の記述</p> 	楽器や長唄の音色	リズム	楽器や唄との重なり	笛と弾物が聞こえる (笛がメイン) よーってさいしょはいている ボンとピンという2つの音がある。	ゆっくりしている 最後の方は速くなったり、遅くなったりする タタダン、タタダン、タタダタダダンって いうリズムが聞こえる。(途中から) 極しもうなテンポ	よーが始まる前にボンって言う音が聞こえる。	<p>13 選択した場面 ( 4 )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>楽器や長唄の音色</th> <th>リズム</th> <th>楽器や唄との重なり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>同じ音程で変わらない落ちている 三味線がメインで弾いている 唄は声を伸ばしている</td> <td>ゆっくり ずっと一定のリズム</td> <td>楽器もゆっくりで唄もゆっくりしていて全体的に落ちている</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代の時代背景や、どんな人によって親しまれたかについて問いかけ、全体で確認する。</li> <li>・雅楽について考えた例を手がかりに考えられるようにする。</li> </ul> <p><b>雅楽は・・・</b></p> <p>いつ?・・・平安時代</p> <p>誰に親しまれた?・・・貴族の人たち</p> <p>どんな役割を果たしていた?・・・宮中や神社での儀式や行事で用いられ、神聖で重厚な雰囲気を作り出していた。</p>	楽器や長唄の音色	リズム	楽器や唄との重なり	同じ音程で変わらない落ちている 三味線がメインで弾いている 唄は声を伸ばしている	ゆっくり ずっと一定のリズム	楽器もゆっくりで唄もゆっくりしていて全体的に落ちている
楽器や長唄の音色	リズム	楽器や唄との重なり												
笛と弾物が聞こえる (笛がメイン) よーってさいしょはいている ボンとピンという2つの音がある。	ゆっくりしている 最後の方は速くなったり、遅くなったりする タタダン、タタダン、タタダタダダンって いうリズムが聞こえる。(途中から) 極しもうなテンポ	よーが始まる前にボンって言う音が聞こえる。												
楽器や長唄の音色	リズム	楽器や唄との重なり												
同じ音程で変わらない落ちている 三味線がメインで弾いている 唄は声を伸ばしている	ゆっくり ずっと一定のリズム	楽器もゆっくりで唄もゆっくりしていて全体的に落ちている												
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○次回以降の見通しと、本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価カードの記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して学んだこと、気づきを記入する。</li> <li>・次回は全員で共有することを伝える。</li> </ul>												

## 7 実践を振り返って

授業の中で、1人1台端末を活用し音楽を全体で鑑賞するだけでなく、個人でじっくりと向き合うような活動を取り入れたことで、多くの生徒が音楽を何度も繰り返し聴き、音楽の特徴に気付くことができた。また、各自で異なる場面を選択できるようにしたことにより、聴き取ることが難しい生徒でも意見をもつことができていた。また、今回生徒が聴取したことをまとめるために Google スライドでフォーマットを用意したが、視覚的にもどのような要素に注目したらよいか明確になり、効果的であったため今後も活用したい。

最後に、歌舞伎がなぜ現在まで長く人々に親しまれているのかという発問について、2時間目に場面の音楽を聴き取った後と、3時間目に Jamboard で各場面の特徴を共有し、映像で鑑賞した後の2時間にわたって考えさせたが、考えの深まりが見える生徒が少なかった。3時間目の共有場面で実際に音楽を流して聴いたり、映像を見せる際に音楽の効果について触れる問いかけをしたりと、聴取した音楽の特徴が効果的に使われていることを実感できる活動を入れるとよいと感じた。